

【原則 3-1 情報開示の充実】

(iv) 経営陣幹部の選解任と取締役候補の指名を行うに当たっての方針と手続

当社は、5名の独立社外取締役および1名の代表執行役を兼務する取締役で構成される指名委員会において、取締役候補者を決定し、その内容を定時株主総会に議案として提出します。当該選任にあたり、特に独立社外取締役については、エグゼクティブ・サーチ会社等の協力を得、幅広いプールの中から候補を探します。その選任の基準は以下のとおりです。

1. 人格に優れ、高い倫理観を有していること
2. 遵法精神に富んでいること
3. 職務遂行上健康面で支障のないこと
4. 経営に関し洞察性に優れ、客観的判断能力を有すること
5. リーダーシップを発揮した経験に富み、チーム志向を備えていること
6. 当社グループの事業分野において経営判断に影響を及ぼすおそれのある利害関係、取引関係がないこと
(「社外取締役の独立性」については別に定める。)
7. グローバルまたは多国籍事業環境での経験が豊富でかつ/または市場、技術、会計、法務、後継者育成等当社グループが必要とする専門性を備えていること
8. 取締役会や自身がメンバーとなる委員会等への参加のための十分な時間が確保でき、指名、監査および報酬の三委員会のいずれかの委員となる場合は、その職務を遂行する資質を有していること

また、「経営陣幹部」とは、(i) 執行役社長、代表執行役および執行役ならびに (ii) CEO、COO、CFO、CAO (Chief Administration Officer) およびこれらに準ずるか、もしくはこれらに次いで重要なグループの職位として取締役会がその選解任を決定するものを指します。¹

指名委員会は、取締役会のこのような決議に先立ち、当該選解任につき、取締役会に対して、推薦または助言をします。

こうした選任/任命にあたっては、これまで証明された業績、リーダーとしての潜在性、ならびに当社グループの将来の方向性、「Our Vision」(*)やステークホルダーコミュニケーションについての原則、行動準則およびグループコンピタンスとの適合性等を総合的に考慮します。

執行役の任期は1年で、上記の基準を踏まえ、毎年その選任を見直します。その他の幹部についても毎年個々人の業績管理を実施します。

当社グループは、このように経営陣幹部の選解任方針および手続について透明性の高い

¹ CEOの直属の部下となる役職は、通常含まれるものとします。

プロセスを維持することに努める一方、グローバル企業としてこれら幹部のリテンションリスクは不可避であると認識しており、毎年の後継者育成計画の見直しや人材育成を計画的に実施し、やりがいのあるキャリア開発の機会を提供することで、人材に関する経営リスクを最小限にとどめることにも努めています。

(*) 「使命」、「目指す姿」および「コア・バリュー」より構成される当社グループの経営指針

(v) 上記(iv)を踏まえた経営陣幹部の選任と取締役候補の指名を行う際の個々の選任・指名についての説明

独立社外取締役（取締役会議長） 木本 泰行

2016年6月より当社の社外取締役および報酬委員長を務められています。国際的な大手メーカーの取締役会長として、独立社外取締役が過半数を占める取締役会をリードした経験を有されることに加え、大手金融機関の英国現地法人の社長、取締役会議長として、複数の外国人独立社外取締役を擁する取締役会をリードされた経験も有され、このような豊富な国際経験と幅広い見識に基づき、独立した客観的な立場から、執行役等の職務を監督していただくことにより、当社の取締役会の監督機能に資することが期待され、独立社外取締役への就任をお願いしました。

取締役 代表執行役社長兼 CEO 森 重樹

当社グループで人事、経営企画に携わった後、建築ガラス事業部門の子会社社長および高機能ガラス事業部門長等の要職を歴任しました。また、2010年7月より2年間、建築ガラス事業部門 英国・南欧 製造・加工・販売部門長として英国に駐在した経験を有します。このような管理部門および複数の事業部門にわたる豊富な業務執行の経験と実績に基づき、2015年4月から、代表執行役社長兼 CEO（最高経営責任者）として、当社グループの経営を担っています。また、2015年6月に取締役に就任しました。当社グループの事業および経営に関する豊富な経験と実績を活かして、引き続き、当社の取締役会の意思決定機能に資することが期待されるため、取締役候補者としました。

取締役 代表執行役副社長兼 COO クレメンス・ミラー

当社グループの建築ガラス事業部門で生産、事業計画およびマーケティングに携わった後、同事業部門長および高機能ガラス事業部門長等の要職を歴任しました。2011年6月から取締役 執行役を務め、2012年4月から取締役 代表執行役副社長兼 COO（最高執行責任者）として当社グループの経営を担っています。当社グループの事業および経営に関する豊富な経験と実績を活かして、引き続き、当社の取締役会の意思決定機能に資することが期待されるため、取締役候補者としました。

取締役 代表執行役副社長兼 CFO 諸岡 賢一

株式会社住友銀行（現株式会社三井住友銀行）に入行後、要職を歴任の後、2006年12月に当社に入社し、日本および英国で経営企画、経理、財務および事業管理に携わりました。2013年6月から当社取締役 執行役副社長を務め、2013年9月からは当社取締役 執行役副社長として、経営企画、人事、国内財務および対外コミュニケーションを所管し、2016年4月から当社取締役 代表執行役副社長兼 CFO（最高財務責任者）として、当社グループの経営を担っています。当社グループの経理、財務、人事、事業および経営に関する豊富な経験と実績を活かして、引き続き、当社の取締役会の意思決定機能に資することが期待されるため、取締役候補者となりました。

独立社外取締役 山崎 敏邦

2015年6月より当社の社外取締役および監査委員長を務められています。国際的な大手メーカーの代表取締役副社長（財務・IR、経理担当）および常勤監査役ならびに年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の運用委員会委員を務められた経験を有され、その豊富な経験と幅広い見識、さらには、財務・会計に関する知見に基づき、独立した客観的な立場から、執行役等の職務を監督していただくことにより、取締役会の監督機能に資することが期待され、引き続き、独立社外取締役への就任をお願いしました。

独立社外取締役 ヨーク・ラウパッハ・スミヤ

2019年6月より当社の社外取締役を務められています。ビジネスと学術の分野において国際的な経験を有され、現在では日本国内の有力大学の経営学部の教授を務められておられます。このような学識経験者および経営者としての豊富な経験と幅広い見識に基づき、独立した客観的な立場から、執行役等の職務を監督していただくことにより、取締役会の監督機能に資することが期待され、社外取締役への就任をお願いしました。

独立社外取締役 石野 博

大手商社において海外業務を担当され、その後、国際的な大手メーカーにおいて代表取締役社長として同社グループのグローバル戦略を推進してこられました。このような経営者としての豊富な経験と幅広い見識に基づき、独立した客観的な立場から、執行役等の職務を監督していただくことにより、取締役会の監督機能に資することが期待され、社外取締役への就任をお願いしました。

独立社外取締役 皆川 邦仁

国際的な大手メーカーにおいて常務執行役員や監査役を歴任され、グローバルな経験、財務および監査に関する幅広い見識および実務経験を有しておられます。このような経営者としての豊富な経験と幅広い見識、財務・会計に関する知見に基づき、独立した客観的な立場から、執行役等の職務を監督していただくことにより、取締役会の監督機能に資することが期待され、社外取締役への就任をお願いしました。

社外取締役 黒井 義博

大手商社において海外子会社社長を務め、その後、大手自動車メーカー、大手自動車部品メーカーにおいて役員として海外事業、IR部門などの豊富な実務経験を有しておられます。このような経営者としての豊富な経験と幅広い見識に基づき、執行役等の職務を監督していただくことにより、取締役会の監督機能に資することが期待され、社外取締役への就任をお願いしました。

執行役

森重樹、クレメンス・ミラー、および諸岡賢一は、これまで証明された業績、リーダーとしての潜在性、ならびに当社グループの将来の方向性、経営理念や行動指針、およびグループコンピタンスとの適合性等を総合的に考慮の上、指名委員会による推薦または助言に基づき、取締役会の決議により代表執行役に選任、任命されました。また、同様に上記の各要素を総合的に考慮し、かつ、当社グループの各事業部門の長および一定のファンクション部門の長を、より法的な位置づけや責任が明確である執行役とすることで、執行体制を強化するため、執行役常務として、トニー・フラッジリー、日吉孝一、石野聡、西川宏、ヨヘン・セトルマイヤー、フィル・ウィルキンソン、楠瀬玲子が、執行役として、中島豊、ティム・ボラス、マイク・グリーンナル、小林史朗、ジョン・マーサー、イアン・スミスおよびミレナ・スタニッチが、それぞれ指名委員会による推薦または助言に基づき、取締役会の決議により、選任、任命されております。